

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会 会報

令和7年3月



会長あいさつ

当会は、利用者自らが主体となって、石川線の必要性について考え行動するために発足されました。近年、新型コロナウイルス感染症の影響などで赤字が続く石川線ではありますが、昨年12月に「みなし上下分離方式」で運行する事業計画が国に認定され、公的な支援を受けながら今後も運行を続けることになりました。新型車両やキャッシュレス決済の導入など様々な施策が計画されていますが、どれだけ利用者を増やすことができるかが今後の課題です。

鉄道は単なる交通手段ではなく、地域の文化や人々の生活を結ぶ大切な存在です。私たちの大切な生活の足を守るため 皆様とともに利用促進に向けて活動してまいりたいと思います。今後ご協力の程よろしくお願いいたします。

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会
会長 垣坂 太佳盛

令和6年度活動報告

令和6年 8月 1日 役員会（書面表決による開催通知発送・9月6日決議）

10月26日 市内3駅清掃活動実施

12月26日 初詣の運行に関するお知らせ発信（市公式LINE等）



石川線・浅野川線
利用促進キャラクター
「のるそう」

活動風景

市内3駅清掃活動報告

実施日 令和6年10月26日（土）

参加者 沿線町内会 12名（本町二丁目、高橋町、本町一丁目、二花自治、丸木、押野）

金沢工業大学学友会 17名、北陸鉄道関係者 6名 計35名

町内会と工大生の皆さんは、市内3駅において、ホーム待合室の清掃、自転車の整理整頓、周辺清掃などを行い、清掃後、工大生さんは乗車体験をかねて、鶴来駅まで乗車し、駅付近を散策しました。

